

当時と現代！ 日本とアメリカ！ それぞれの「太平洋戦争」が、対比でわかる！

『日米の教科書 当時の新聞でくらべる太平洋戦争』

7月24日（金）発売！

<http://www.tg-net.co.jp/item/4777815528.html>

辰巳出版株式会社(本社：東京都新宿区、代表取締役社長：廣瀬和二)は、太平洋戦争終戦70年に向け、日本とアメリカの現代の教科書や資料、当時の新聞の実際の記述を引用し、その内容を比較し検証する一冊、『日米の教科書 当時の新聞でくらべる太平洋戦争』(本体1,200円、税込定価1,296円)を2015年7月24日より、全国書店および弊社ホームページにて発売いたします。

終戦から70年の節目にあたる今夏は、戦争に関連する書籍や特別番組などが多数予定されています。

そのような状況の中で、弊社は「太平洋戦争」をテーマに、日本とアメリカの両国において、「当時の新聞はどう報じていたのか?」、「現代の教科書はどう教えているのか?」に焦点を当てた書籍を発刊いたします。

たとえば「真珠湾攻撃」。

開戦の発端となった戦いにおいて、日本の新聞とアメリカの新聞では、それぞれ当時どのように報じていたのか?

現在、両国の歴史教科書や資料ではどのように教えているのか?

今と当時の資料を具体的に比較し、それぞれの政府の対応、国民の関心、戦争の推移や背景にいたるまで、わかりやすく解説いたします。

その結果として見えてくる、歴史と戦争、報道と教育に対する日本とアメリカのアプローチの違いを如実に知ることができる、貴重な一冊です。

【本書概要】

- タイトル：日米の教科書 当時の新聞でくらべる太平洋戦争
- 発行元：辰巳出版株式会社
- 価格：税込定価1,296円（本体1,200円）
- 判型・ページ数：A5判160ページ

【内容紹介】

巻頭：

カラーで見る 太平洋戦争の日米主力兵器 戦艦・空母・航空機

日米両首脳演説（開戦後）

（第 40 代内閣総理大臣首脳 東條英機／第 32 代大統領 フランクリン・ルーズベルト）

連合国・枢軸国勢力分布図

序章：開戦前夜

日独伊三国同盟成立

日米交渉開始

ABCD 包囲網

第三次近衛内閣総辞職

ハル・ノート

1 章：進撃

真珠湾攻撃

マレー沖海戦

フィリピンの戦い

シンガポール陥落

2 章：転身

ミッドウェー海戦

ガダルカナル島撤退

学徒出陣（出陣学徒走行会）

米軍、サイパン上陸

神風特攻隊出撃

硫黄島の戦い

3 章：終戦

東京大空襲

米軍、沖縄本島上陸

ポツダム宣言「黙殺」

広島へ原爆投下

ソ連、対日宣戦布告

長崎へ原爆投下

ポツダム宣言受諾

玉音放送

巻末：

太平洋戦争年表

日米両首脳演説（現代）

（第 97 代内閣総理大臣首脳 安倍晋三／第 44 代大統領 バラク・オバマ）

※メディア様への献本可能です。ご希望の場合お問い合わせください。

■会社概要

商号 : 辰巳出版株式会社
代表者 : 代表取締役社長 廣瀬和二
所在地 : 〒160-0022 東京都新宿区新宿 2-15-14 辰巳ビル
URL : <http://www.tg-net.co.jp>

■本件に関するお問い合わせ先

辰巳出版株式会社 出版企画開発室
高橋栄造 説田綾乃
TEL : 03-5360-8960
FAX : 03-5360-8052
Mail: pes@tatsumi-publishing.co.jp